



プロジェクト名称

まちラボおおみやプロジェクト

プロジェクト活動概要

大宮のまちづくりを考えるためのコミュニティ・ステーションである「まちラボおおみや」を、地域に関わっているさまざまな団体と連携しながら、より市民に役立つ施設にすることを目的としている。そのため、大宮のまちづくり関係者の方々とつながりづくりや、学生まちづくり団体の設立などに向けて取り組んでいる。今年度のプロジェクトテーマとしては《大宮のまちづくり貢献のための「学」の基盤づくり》を掲げている。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 他大学とのまちづくり団体である（仮称）OM リーグを設立する
- ② OM リーグの Facebook ページの「いいね！」の数を 100 にする
- ③ OM リーグの所属学生を 20 人にする

プロジェクトの初年度では《大宮のまちづくり貢献のための「学」の基盤づくり》をテーマに位置づけているため、上記の 3 点を目標としていた。しかし、学生まちづくり団体の設立に向けた他大学との交渉が難航しており、本団体の目標は現在のところ達成できていない。

そのため現在は、「まちラボおおみや」も含まれている宮町一丁目のまちづくりに参加しており、大宮地区における活動を進めている。また、2017 年 1 月からは「大宮エリア全体を対象とする学生団体」という名目で、大宮キャンパスのある東大宮も対象として、個人商店を特集する PR 誌作成のプロジェクトも展開している。



【写真1】まちラボおおみや



【写真2】ワークショップ（参考：2016年10月期）



【写真3】東大宮の個人商店へのインタビュー調査



【写真4】商店街×大学によるPR誌の編集作業

◆宮一活性化研究会ワークショップに係る準備 【写真1-2】

「まちラボおおみや」（写真1）も含まれている宮町一丁目は、数多くの路線が通っている大宮駅東口の地区であることから、まちづくりをしていく上で重要な場所となっている。2016年10月以降、「まちラボおおみや」にて行われているワークショップ（写真2）を通して、市役所・民間企業・本団体などが連携して、住民参加型ワークショップを開催している。現在は3月25日のワークショップ本番に向けて準備を進めている。

◆商店街×大学による東大宮PRプロジェクト 【写真3-4】

2017年1月以降、大宮キャンパスのあるまち「東大宮」を対象として、東大宮商店街と大学が連携したPR活動を開始する。まずは、昔から地域に根ざしている個人商店を知ってもらうために、複数の商店に赴いて「人気メニュー」や「商店史」などについて、インタビュー調査をさせていただいた（写真3）。現在は、それを踏まえてPR誌を作成しており、4月上旬の発行に向けて編集作業を進めている（写真4）。



今後の活動計画、目標、意気込み

(1) 今後の活動計画

◆宮一活性化研究会ワークショップ

2017 年 3 月 16 日 (木) 第 3 回 宮一活性化研究会ワークショップの準備

2017 年 3 月 25 日 (土) 第 3 回 宮一活性化研究会ワークショップ

2017 年 3 月下旬~4 月 平成 28 年度 宮一活性化研究会ワークショップのとりまとめ作業

◆東大宮 PR プロジェクト

2017 年 3 月 22 日 (水) 商店街×大学によるコラボ PR 誌に係る商店への確認

2017 年 4 月 1 日 (土) 商店街×大学によるコラボ PR 誌の配布開始

(2) 意気込み

宮町一丁目まちづくりの関係者の方々・東大宮商店街の方々のおかげで、1 年間活動を続けることができ、大変感謝している。今後は 3 月 25 日にある第 3 回 宮一活性化研究会ワークショップの活動を行い、1 年であげられた成果をとりまとめていきたい。また「大宮エリア全体を対象とする学生団体」という位置づけで、キャンパスタウンである東大宮の方々とのつながりをつくりつつ、今後の活動に反映していきたい。

まちラボおおみやプロジェクトメンバー一同